磁気共鳴診断装置SmartSimulatorレポートVol.1

診療放射線技師養成学校における期待と学習効果

www.siemens-healthineers.com/jp/



アプリケーショントレーニング評価
4年連続1位
2026年放射線科調査（株）矢野経済研究所

学生全員が操作体験。臨床実習をより有用な学習機会とするために！

Siemens Healthineersでは、診療放射線技師を養成する教育機関にも教育支援を行っています。特に近年は、デジタルツールの活用を通じて、より効果的で実践的な支援へと進化しました。今回はその一例として、SmartSimulatorを全国でもいち早く導入いただいている、鈴鹿医療科学大学様をご紹介します。学生たちがSmartSimulatorを活用するうえで生まれた、学習への期待と効果を是非ご覧ください。

講義内容・学習の流れ（2026年6月16日撮影 学生10名/回）

①座学（30分）＋SmartSimulator（60分）

今までの講義全体で学んだ知識の確認と合わせてSmartSimulatorを用いてMRI検査の流れ(解剖学クイズ)・頭部MRI MIP作成・撮像パラメータ設定とトレードオフを実施。

②実機操作

SmartSimulatorを用いて学んだ撮影フローの確認とともに、実機ならではの学習内容として接遇・騒音・磁場に関する実機学習を実施。

デジタルツール（SmartSimulator）

Siemens Healthineersの機器をオンライン上でいつでも、どこでもシミュレートできます。

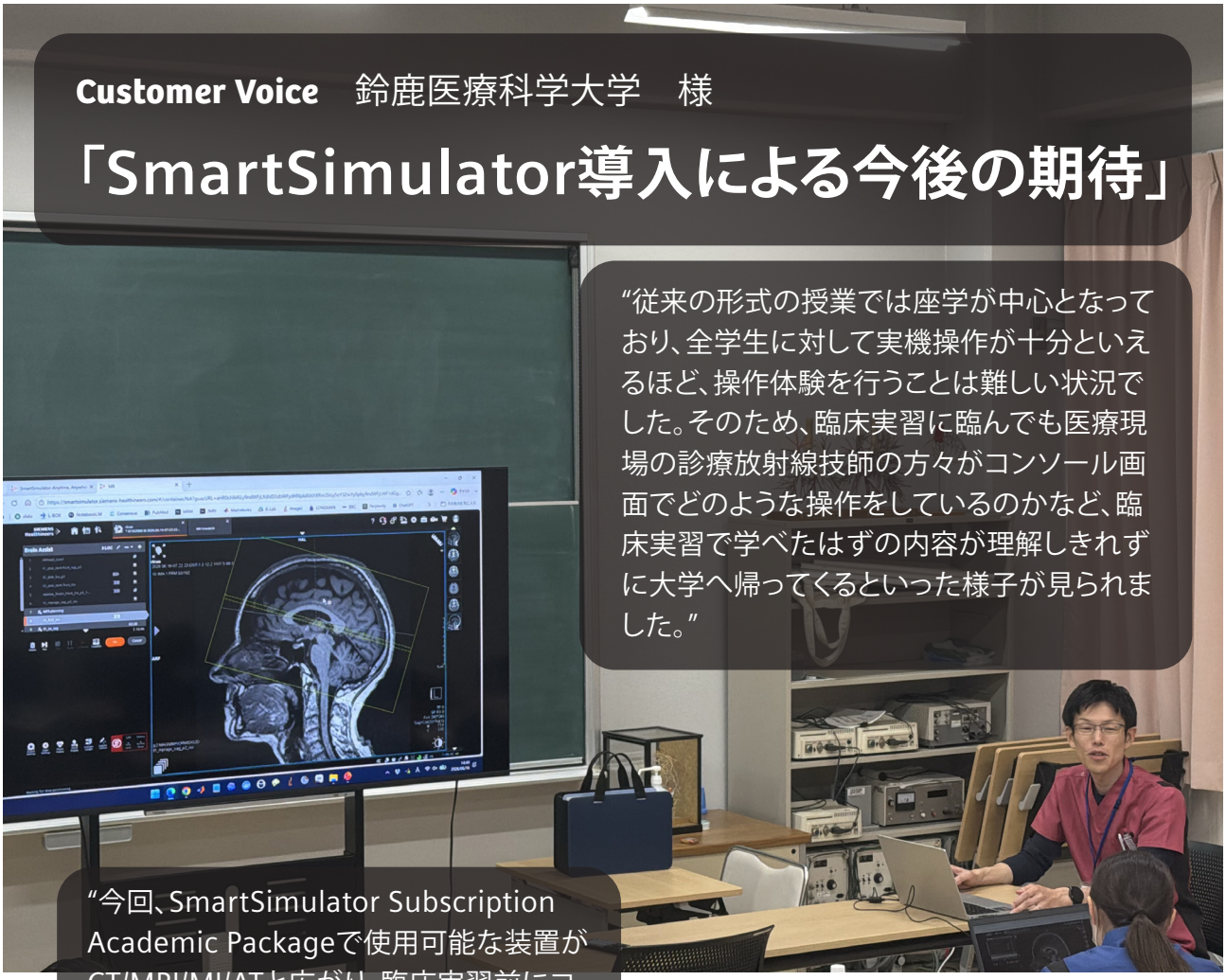


- ポイント① コンソール操作体験を通した知識の定着
- ポイント② 学生全員が待ち時間のない撮影を体験
- ポイント③ 臨床実習での学びを向上させる

SIEMENS Healthineers

Customer Voice　鈴鹿医療科学大学　様

「SmartSimulator導入による今後の期待」



“従来の形式の授業では座学が中心となっており、全学生に対して実機操作が十分といえるほど、操作体験を行うことは難しい状況でした。そのため、臨床実習に臨んでも医療現場の診療放射線技師の方々がコンソール画面でどのような操作をしているのかなど、臨床実習で学べたはずの内容が理解しきれずに大学へ帰ってくるといった様子が見られました。”

“今回、SmartSimulator Subscription Academic Packageで使用可能な装置がCT/MRI/MI/ATと広がり、臨床実習前にコンソール操作ができる環境が整ったため、臨床実習から帰ってきた学生の反応が昨年度までの学生とどのように変化するか、楽しみです。”



鈴鹿医療科学大学
放射線技術科学科　助教
荒井　信行　先生

鈴鹿医療科学大学

医療系多職種のスペシャリストを養成する医療・福祉の総合大学。日本初の 4 年制医療系大学として、医療・学部・学科の垣根を越えたカリキュラムと少人数制教育により、幅広い知識と人間性を養い、医療分野における多数の優秀な人材を育成



シーメンスヘルスケア株式会社
〒141-8644
東京都品川区大崎1-11-1ゲートシティ大崎ウエストタワー

本サービスに関するお問い合わせは、担当営業、
または二次元コードのフォームまでご連絡ください。
仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

QR700044163